



シティ・セールス朝霞ブランド

認定期間R6.4.1～R12.3.31

朝霞市の誇れる歴史、文化、行事、産品などの地域資源を、市のイメージアップにつながるもの、市への愛着を深めるものとして広く市内外へPRするための朝霞ブランドです。

1 旧高橋家住宅 歴史

江戸中期、18世紀前半の建築と推定された農家建築です。この地域の一般的な農家の景観を今に伝えるものとして、敷地も併せて重要文化財に指定されています。朝霞に昔から伝わる伝統行事の展示や、園内に咲く季節の花々などで四季の移ろいを感じられる場所です。



2 本田美奈子。モニュメント 文化

幼い頃から住んでいた朝霞のまちをこよなく愛していた本田美奈子さんの、幅広い音楽活動やその人柄で多くの方々に愛された功績をたたえ、建てられたものです。



3 黒目川 景観

市内をほぼ東西に流れ、川沿いの遊歩道は散策やウォーキング、ジョギングなどを楽しむ多くの人が集まります。周辺の田園風景などとともに、春の桜並木をはじめとした四季折々の景観が、訪れる人たちを楽しませるスポットとして親しまれています。



4 彩夏祭 行事

「朝霞市民まつり」として、市民自らが育んできた約40年の歴史があり、例年、市内外から70万人以上の方が訪れます。本州で初めて開催された、よさこい鳴子踊りの祭典「関八州よさこいフェスタ」や、市街地で打ち上げられる花火は圧巻です！



5 ニンジン 産品

朝霞でのニンジン栽培は大正時代から始まり、現在では県内有数の出荷量を誇る産品となっています。ニンジン素材とした菓子や食品、料理、焼酎なども生まれています。



6 公園通りとシンボルロード 生活

朝霞駅南口から徒歩約10分ほどに位置する、ケヤキ並木のある閑静な通りで、令和2年には延長680mに渡り幅を30m拡幅した緑の道「シンボルロード」を整備しました。よりゆったりとした歩行空間や自転車道のほか広場などもあり、多くの市民の憩いの場となると同時に、さまざまなイベントの会場にもなっています。



7 まちなかベンチ 生活

市が主体となって整備するだけでなく、企業や市民の方のご協力により、シンボルロードや黒目川沿い、北朝霞駅周辺などに景観を活かしたベンチやテラス、ミニパークなどが設置されています。既存のベンチを含め、市内のいたるところに「居心地が良い場所」があることで、人々が歩き、憩い、集い、自然に親しむ場となり、まちにゆとりを生み出しています。

